

ESG経営を進める積水ハウスグループの持続可能性報告書 「サステナビリティレポート2019」発行 ～統合報告、環境報告、CSR報告の三つの切り口で情報開示～

積水ハウス株式会社は、グループ経営上の重要事項であるESGに関する取り組みをまとめた、持続可能性報告書「サステナビリティレポート2019(Sustainability Report 2019)」を発行しました。

本報告書では、統合報告、環境報告、CSR報告の三つの切り口で、当社グループの中長期的な価値実現に関心を持つステークホルダーに情報を開示しています。

- 「請負型」「ストック型」「開発型」「国際」の四つのビジネス毎にコア コンピタンスを生かした成長戦略を記載
- 第4次中期経営計画に組み込んだESGの重要テーマ毎に、価値創造に向けた実践内容をSDGs（持続可能な17の目標）との関係や、KPIも含めて開示
- 持続可能性の視点で気候変動に関するTCFD（※1）提案を反映し、環境・経済・社会の側面から「リスクと機会」を分析

「サステナビリティレポート2019」の特徴は以下の通りです。

- ・ さまざまなステークホルダーとのコミュニケーションを図り、活動した内容を、統合報告、環境報告、CSR報告の三つの切り口でレポートニング。
- ・ サステナビリティビジョン2050における2050年のチャレンジ目標とSDGsの目標年（2030年）を見据えた目標を設定し、開示。（P.31,32）
- ・ GRIスタンダード（※2）の項目別スタンダードのマテリアル（重要）な17項目を、主としてESGの切り口で実践し、価値を創造。（P.33,34など）
- ・ 「請負型」「ストック型」「開発型」「国際」の四つのビジネス毎の成長戦略と、それらにより解決する社会課題を記載。（P.11～20）
- ・ 変化のトレンドをビジネス環境としてとらえた「リスクと機会」を分析し、持続可能性やSDGsの観点から立案した施策・取り組みを開示。気候変動についてTCFD（※1）の提言に沿ったシナリオの分析を実施。（P.21,22）
- ・ バリューチェーンを通じたステークホルダーとの協業による持続可能な取り組みを開示。（P.53～60など）



A4版・全96ページ

積水ハウスグループは、今後もESGに関する取り組み内容を積極的に開示し、ステークホルダーの皆様の期待に応えるとともに、持続可能な社会の構築に寄与してまいります。

（※1）気候関連財務情報開示タスクフォース。気候変動リスクが企業経営に対してもたらす財務的影響の把握を求めている。

（※2）GRI（グローバルレポーティングイニシアティブ）が発行する、CSRの国際的なガイドライン。

<「サステナビリティレポート2019」の主な掲載内容>

I 価値創造のビジョンと戦略（統合報告）

- ・トップコミットメント
- [戦略・コア コンピタンス]
- ・積水ハウスグループの事業
- ・リスクと機会
- ・積水ハウスグループ独自の強み
- ・価値創造のプロセス
- ・財務・非財務パフォーマンス
- [ビジョン・目標]
- ・4つの価値とSDGs
- ・サステナビリティビジョン2050
- ・中期経営計画とESG

II 価値創造の実践

ESG経営に取り組む積水ハウスグループの重要テーマ毎に、目指す姿や活動方針、2018年度の取り組み成果や目標に対する実績の自己評価などを開示しています。

| ESGの重要テーマ（抜粋） | | 主な実績（2018年2月～2019年1月） |
|---------------|---------------------|---|
| ① | 脱炭素社会 | ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）「グリーンファースト ゼロ」比率が当社戸建住宅の79%（※3） 1990年比CO2排出削減率82.6% |
| ② | 人と自然の共生社会 | 「5本の樹」計画を開始した2001年からの累積植栽本数1502万本、環境NGOと作成した独自の「木材調達ガイドライン」に基づく調達ランクSおよびAの木材比率94% |
| ③ | バリューチェーンを通じた顧客満足の追求 | 制震システム「シーカス」搭載率96% 空気環境配慮仕様「エアキス」搭載率91% 教育訓練センター・訓練校修了者累計2711人 |
| ④ | ダイバーシティの推進 | グループ女性管理職176人（前年比18人増） 障がい者雇用率2.53% |
| ⑤ | 働き方改革 | 男性育児休業取得率100%（※4） 1人あたり月平均総労働時間170.26時間 |
| ⑥ | コーポレートガバナンス体制の強化 | 取締役会運営の透明化・活性化、取締役の担当部門の明確化、取締役会の実効性評価の実施 など |

（※3）「グリーンファースト ゼロ」比率は北海道以外の都府県で算出(2018年4月～2019年3月末まで)

（※4）取得者数/出産数。出産数を取得者数が上回ったため100%としている。

III CSRマネジメント

- ・CSR方針とESG経営の推進体制
- ・マテリアルな項目の特定
- ・ステークホルダーエンゲージメント など

本レポートと同じ内容のPDFデータは以下のURLからダウンロードできます。

https://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/download/2019/book/2019_all_A3.pdf

なお、WEBサイト「環境・CSR活動」は6月10日公開予定です。本レポートより詳細かつ網羅的に情報を開示しています。

<https://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/>



PDFデータのダウンロード



WEBサイト
(6月10日公開予定)